

生友

昭和57年10月1日発行 第1号
発行 東海大学生友会

事務局

〒259-12 平塚市北金目1117
東海大学工学部生産機械工学科内
TEL 0463-58-1211
東海大学生友会

主な記事

7. 6. 5. 4. 3. 2. 1.
編会会生友会正規員からのお知らせ
集後記
会員名を記入し、○印で示す。
会員名に○印で示す。

より東海大学校友会館（霞ヶ関三十三階）にて、機械系四学科創設二十周年を迎えた。他学科と共に準備を進めてきた生産機械工学科窓会「東海大学生友会」の発会式が多数の同窓生（生友会関係者五十一名）ならびに三学科主任教授の先生方の御出席をおき盛大に行なわれ正式に発足した。

発会式では、まず村上機械系四学科同窓会設立準備委員長よりこれまでの経過報告があり承認され、議長団の選出の後、規約の説明が各同窓会（生友会関係は北澤設立準備委員）よりなされ、原案通り承認され正式に発足した。次に役員選出に移り、第一期生友会会長に小松武万人氏（昭四十二卒）が選出され、会長としてのあいさつを行った。最後に来賓として御出席いただいた各学科の主任教授の先生方（生産機械工学科主任教授原清先生）より同窓会成立に対するあいさつを行なった。

生友会 正式発足

会長に小松武万人氏を選出

つがあつた。
午後五時三十分より四学科創設二十周年記念パーティが松前総長先生をはじめ多数の先輩方ならびに卒業生の参加により盛大に行なわれた。

発会式において決定した生友会第一期役員は次のとおりである。（カッコ内は卒業年度）

会長 小松武万人（昭42）

副会長 小野田六郎（昭42）

幹事 鈴木敏郎（昭42）

監査計 岡田吉敏（昭42）

官中沖一（昭42）

若望山節香（昭42）

櫻月岸沼川田木崎（昭42）

光一陽節勝義克龍（昭42）

知正光（昭42）

昭夫一夫（昭42）

昭己二成行（昭42）

（昭42）

（昭42）

会長就任に当つて

生友会会長 小松武万人

この度我々の果立った生産機械工学科の同窓会「生友会」が機械系三学科と共に創設二十周年を迎え、これを記念し、発足し、会報「生友」も出ることになつて甚だ喜ばしいことです。然し、私が会長とは恐縮至極に存じます。

私自身、東海大学発祥の地である三保に育ち、一中、一高、大学と十年間、そして海洋学部の聽講生としてチヨッピリの学園生活を経て実社会に立ち今日を迎えておりますが、なんと云つても湘南校舎の学園生活の思い出はつきない。霜柱の融けたドロンコ道など想像できるだろうか。それにしても東海大学の大躍進は素晴らしい。卒業生として、松前総長先生をはじめとする学園関係者に感謝申し上げます。

この会の発足を契機に、会員相互の親睦向上をはかり、併せて大学および生産機械工学科の発展に寄与しようではありませんか。同窓生の皆さんのご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

生友会発足を祝う

生産機械工学科主任教授

松原集

本であつたが、後半より専攻に分れ、後に生産機械専攻工学科として独立した。

この三月に卒業したものも含めて、生産機械専攻、学科の全卒業者は約二千名となつてゐる。この二十年間を記念して同窓会が発足し、生友会と名付けられました。人生でいう成年式に相当する良い年の出発であり、喜びに耐えない。機械工学科の一期生は昭和三十九年に卒業しており、およそ十八年の社会経験を経て中堅として活躍しており、同窓生全体としての今後の発展が期待される。

ところで、機械文明の続く中につけて、機械工学を専攻している学生に対し、基本の学問や技術を中心とし、NC工作機械やロボットなどの最新技術を習得させて、より立派な後輩を育立たせるべく努力して行きたい。

同窓生皆さんのご理解とご鞭撻を切にお願いする次第である。

そ十八年の社会経験を経て中堅として活躍してお
り、同窓生全体としての今後の発展が期待される、
ところで、機械文明の続く中にあって、機械工
学を専攻している学生に対し、基本の学問や技術
を中心とし、NC工作機械やロボットなどの最新
技術を習得させて、より立派な後輩を育立たせる
べく努力して行きたい。

同窓生皆さんのご理解とご鞭撻を切にお願いす
る次第である。

会員名（印代議員）

東海大学生友会会則

第一章 総則

第一条 本会は東海大学生友会と称し、事務局を東海大学湘南校舎工学部生産機械工学科事務室に置く。

第二条 本会は会員相互の親睦向上をはかり、併せて、東海大学工学部生産工学科の発展に寄与することを目的とする。

第二章 会員

第三条 本会は次の会員より組織される。

1. 正会員 2. 特別会員

3. 名誉員

4. 代議員

5. 会計

6. 監査

7. 幹事

8. 副会長

9. 会長

10. 代議員会

11. 会計事務

12. 機械工学科

13. 生産工学科

14. 工学科

15. 機械工学科

16. 生産工学科

17. 工学科

18. 機械工学科

19. 生産工学科

20. 工学科

21. 機械工学科

22. 生産工学科

23. 工学科

24. 機械工学科

25. 生産工学科

26. 工学科

27. 機械工学科

28. 生産工学科

29. 工学科

30. 機械工学科

31. 生産工学科

32. 工学科

33. 機械工学科

34. 生産工学科

35. 工学科

36. 機械工学科

37. 生産工学科

38. 工学科

39. 機械工学科

40. 生産工学科

41. 工学科

42. 機械工学科

43. 生産工学科

44. 工学科

45. 機械工学科

46. 生産工学科

47. 工学科

48. 機械工学科

49. 生産工学科

50. 工学科

51. 機械工学科

52. 生産工学科

53. 工学科

54. 機械工学科

55. 生産工学科

56. 工学科

57. 機械工学科

58. 生産工学科

59. 工学科

60. 機械工学科

61. 生産工学科

62. 工学科

63. 機械工学科

64. 生産工学科

65. 工学科

66. 機械工学科

67. 生産工学科

68. 工学科

69. 機械工学科

70. 生産工学科

71. 工学科

72. 機械工学科

73. 生産工学科

74. 工学科

75. 機械工学科

76. 生産工学科

77. 工学科

78. 機械工学科

79. 生産工学科

80. 工学科

81. 機械工学科

82. 生産工学科

83. 工学科

84. 機械工学科

85. 生産工学科

86. 工学科

87. 機械工学科

88. 生産工学科

89. 工学科

90. 機械工学科

91. 生産工学科

92. 工学科

93. 機械工学科

94. 生産工学科

95. 工学科

96. 機械工学科

97. 生産工学科

98. 工学科

99. 機械工学科

100. 生産工学科

101. 工学科

102. 機械工学科

103. 生産工学科

104. 工学科

105. 機械工学科

106. 生産工学科

107. 工学科

108. 機械工学科

109. 生産工学科

110. 工学科

111. 機械工学科

112. 生産工学科

113. 工学科

114. 機械工学科

115. 生産工学科

116. 工学科

117. 機械工学科

118. 生産工学科

119. 工学科

120. 機械工学科

121. 生産工学科

122. 工学科

123. 機械工学科

124. 生産工学科

125. 工学科

126. 機械工学科

127. 生産工学科

128. 工学科

129. 機械工学科

130. 生産工学科

131. 工学科

132. 機械工学科

133. 生産工学科

134. 工学科

135. 機械工学科

136. 生産工学科

137. 工学科

138. 機械工学科

139. 生産工学科

140. 工学科

141. 機械工学科

142. 生産工学科

143. 工学科

144. 機械工学科

145. 生産工学科

146. 工学科

147. 機械工学科

148. 生産工学科

149. 工学科

150. 機械工学科

151. 生産工学科

152. 工学科

153. 機械工学科

154. 生産工学科

155. 工学科

156. 機械工学科

157. 生産工学科

158. 工学科

159. 機械工学科

160. 生産工学科

161. 工学科

162. 機械工学科

163. 生産工学科

164. 工学科

165. 機械工学科

166. 生産工学科

167. 工学科

168. 機械工学科

169. 生産工学科

170. 工学科

171. 機械工学科

172. 生産工学科

173. 工学科

174. 機械工学科

175. 生産工学科

176. 工学科

177. 機械工学科

178. 生産工学科

179. 工学科

180. 機械工学科

181. 生産工学科

182. 工学科

183. 機械工学科

184. 生産工学科

185. 工学科

186. 機械工学科

187. 生産工学科

188. 工学科

189. 機械工学科

190. 生産工学科

191. 工学科

192. 機械工学科

193. 生産工学科

194. 工学科

195. 機械工学科

196. 生産工学科

197. 工学科

198. 機械工学科

199. 生産工学科

200. 工学科

第三章 役員および役員会

第五条 会員および役員会

本会は左記の役員を置く。

第六条 役員の選出

役員の選出は左記の通りとする。

第七条 役員の任期

役員は、会員の承認を得ることを定める。

第八条 会計事務

本会は下記の役員会を置き、その任務は次の通りとする。

第九条 会員の権利

本会は、出席代議員（委任状を含む）の過半数を持つ

第十一条 会員の義務

総会は代議会の決議を経て会長が招集する。

第十二条 事業

総会の決議は正会員の出席者総数（委任状を含む）の過半数を持つ

第十三条 決定

決定する。

第十三条

2. 名簿及び会報等の発行
本会は東海大学のその他の機械系
同窓会および機械系四学科と協力
して第十二条の事業を行うことができる。

第十四条
第十五条

事業報告は総会において行う。
本会の事業年度は毎年四月一日に
始まり翌年三月三十一日に終る。

第六章
第七章

第六章
第十六条
第十七条
第十八条
第十九条

本会の運営は会費およびその他の
収入をもって行う。
正会員年額二千円とする。

会計報告および会計監査報告は總
会で行う。
本会の会計年度は事業年度と同じ
期日とする。

第八章
第二十一条
第二十二条

本会には地方支部を置くことがで
きる。

地方支部を設置の場合は本会の代
議員会の承認を得るものとし、本
規約に反する規約を定めることは
できない。

第二十三条
会則の改正

本会の会則の改正は総会において
出席者総数（委任状を含む）の
2／3以上の賛成により決議される。

第九章

付 則

1. 会員の身辺に変更がある場合
は本会に報告しなければならない。
2. 本会則は昭和五十六年十一月
十五日より施行する。

会からのお知らせ

「会員ひろば」への投稿を

次号より会員の皆様の御意見をのせたいと思
いますのでどしどし事務局へ投稿下さい。字数形式
は自由と致しますのでよろしくお願ひします。

「広告」の募集

広告を広く募集しますので御希望の折は事務局
まで申し出でて下さい。御相談致します。

会員をふやそう

生友会も誕生し二周年を迎えた。会もこれ
からが正念場です。まだ入会されていない同窓生
が数多くおります。会員の皆さまのお知り合いの方
でまだ入会されていない方がおりましたら入会
をおすすめ下さい。

会員住所録について

現在会員の名簿および住所録作成のため整理中
です。できるだけ早く作成し、会員の皆様のお役
に立つようになっております。もうしばらくお待ち下さい。

編集後記

生友会々報「生友」創刊号をお届けします。今
後は「会員ひろば」や「大学だより」などを取り入
れ、会員の皆様の親睦向上をはかる機関誌にして
行きたいと思います。会員の皆様の投稿と御意
見を期待します。（K・T）

会費納入方法のお知らせ

本年度より会費納入方法として次の方法をとら
せていただきますので会員の皆様の御協力よろし
くお願い致します。

一、郵便振替

（口座番号）

横浜一六一四八六二四

（口座名称）

東海大学生友会

現金書留

（通信先）

神奈川県平塚市北金目一一七

東海大学工学部

生産機械工学科内

東海大学生友会

（郵便番号二五九一一二一）

電話 ○四六三一五八一一二一

（内三四五七）

なお送金に当つては卒業年度を御記入下さい。
会費は何年度分か一括でも可ですのでよろしくお
願いします。